

豪州研究者受け入れについて

平成 22 年 11 月 1 日

社団法人日本工学アカデミー

1. 事業概要

本事業は、平成 20 年になされた日豪政府間合意に基づき具体化したもので、日豪両国が協力して次世代研究リーダーを育成するための交流事業である。

豪州側は豪州工学アカデミー(ATSE: Australian Academy of Technological Sciences and Engineering)が、日本側は独立行政法人日本学術振興会(JSPS)と社団法人日本工学アカデミー(EAJ)が共同で本事業の実施にあたる。

それぞれの国で将来研究リーダーとなるような若手人材(35~45 歳程度)を所定の人数(2010 年は各 8 名)、予め定められた研究分野(2010 年は下に記す 3 分野)から選び、相互に派遣しあう。派遣された研究者は 2 週間相手国に滞在し、当該分野における研究機関を歴訪し、分野を代表するような優れた研究者と親しく接する機会を得る。その交流を通じて、相手国における研究状況等の理解を深め、リーダーとしての資質を磨くとともに、人的ネットワークの構築を図り、将来日豪間の共同研究、学術シンポジウムの共催、産業化促進などの実現を目的とする。

2010 年は下記の 3 分野を対象とする。

A: エネルギー・環境、 B: 新材料・資源、 C: バイオ・その医学的応用

2010 年 2 月 14 日~26 日にわたり、日本の研究者 8 名(A:3 名、B:2 名、C:3 名)が渡豪し、上述の交流を果たした。11 月 14 日~26 日にわたり、豪州から 4. に記す 8 名(A:3 名、B:3 名、C:2 名)が来日する予定である。

2. 豪州研究者の受け入れ

日本側では、基本的に ATSE が行なった日本人研究者受け入れの手法を踏襲する形で考えるが、現実的な観点から一部は独自の手法も取り入れる。

現時点で予定している概略スケジュールを下に示す。

11 月 14 日(日) 午後	参加者への個別説明会
15 日(月) 午前	オリエンテーション
15 日午後~25 日	研究機関訪問
26 日(金) 午前	報告会

3. 費用負担

豪州研究者に対しては、豪州から日本までの旅費は ATSE が支給し、日本での宿泊費、国内交通費、活動費などは規定に従って JSPS が支給する。その他レセプション、オリエンテーション、報告会などの必要経費は EAJ が負担する。訪問受け入れ先に対する謝金や経費の支払いは行なわないものとする。

4. 受け入れ研究者一覧

分野	氏名	所属	研究分野
A	Venkata KAMBALA	Research Fellow, CERAR, University of South Australia	Contamination issues affecting land and water (surface and ground) resources
A	Declan PAGE	Project Leader, CSIRO Land and Water	Urban water recycling and reuse in the link between water and energy
A	Daniel ROBERTS	Senior Research Scientist, CSIRO Coal Technology	Coal and Biomass gasification for lower emission power generation and liquid fuel production
B	Wenlong CHENG	Associate Professor, Dept. of Chem. Engr., Monash University	Synthesis of high quality nanoparticulate materials and utilization of biological molecules
B	Gavin CONIBEER	Associate Professor, ARC Photovoltaic CoE, Univ. of New South Wales	Advanced photovoltaics; Hot carrier cells; Quantum dot Nanostructures; III-V nanostructures
B	Askshat TANKSALE	Postdoc. Res. Fellow, ARC CoE for Funct. Nanomaterials, Univ. of Queensland	Nanomaterials for catalytic application in the conversion of plant products; Hydrogen storage in Magnesium hybrid hybrid materials; Hydrogen production from water using photocatalysis
C	Julie NIGRO	Research Scientist, CSIRO Molecular and Health Technologies	Neurobiology, amyloid-beta, cell biology and the biomedical applications of extracellular matrix
C	Jian TU	Senior Lecturer, School of Advanced Medicine, Marquarie University	“Glucokinase is the glucose sensor in insulin producing stem cells.” “Novel and innovative approach to assess stroke by using a combination of computational flow dynamic software and blood biomarker assay.

本件に関するお問い合わせ先： 社団法人日本工学アカデミー

専務理事 山田敏之

事務担当 田中美幸

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館 4F

E-mail: academy@ej.or.jp Tel: 03-5442-0481 Fax: 03-5442-0485